

近世期資料のマテリアル分析に関する資料調査ならびに研究

大和あすか（東京文化財研究所）、松原哲子（国文学研究資料館）

研究概要と目的

近世以降の文化財および歴史資料には、資料そのものの価値のみならず、当該資料が有する歴史的背景や文化的価値を間接的に示す二次資料が多く残存している。マテリアル分析は資料の物質的特性を解明し、その理解を深める上で有効である一方、分析結果の意義や文化的・歴史的価値の実証には、同時代の文字資料が不可欠である。本研究は、主にマテリアル分析の補助資料として有用な文献資料を探索・収集し、デジタルアーカイブ化を通じて広く研究者に公開することを目的とする。

初年度の研究内容

大黒屋所蔵資料の悉皆調査

【調査背景】

大黒屋は、愛知県岡崎市伝馬町に所在する、室町時代創業で460年以上の歴史を持つ漢方薬店であり、現在は火薬鉄砲と漢方薬を分業して営業している。発表者の先行研究^註において、大黒屋が嘉永4年（1851）に販売した黄色顔料「石黄」（写真1）を入手し、ラマン分光分析による解析を行った。その結果、当該石黄が弘化から嘉永期にかけて会津国で製造された人造品である可能性が示唆された。これを受けて、石黄の流通および販売経路の詳細を解明するため、大黒屋の所蔵資料に対する悉皆調査を実施することとした。

註：大和あすか、浮世絵版画における天然および人造石黄の使用事例と流通状況に関する一考察，文化財保存修復学会（66）pp.11-29, 2023.

【調査状況】

資料には仮の整理番号を付し、現時点で103点の目録作成および撮影が完了している（表1、写真2、3）。これらの資料の年代は、江戸時代前期（元禄年間）から大正時代に至るまで幅広く、内容も漢方や火薬、金貨業に関するものから、近親者間の手紙など多岐にわたる。特に、江戸から明治期頃にかけてまとめられたと推測される漢方原料の植物標本は9冊に及び、本研究においても重要な位置を占めている。漢方薬の原料には、日本絵画に用いられる染料や顔料と共通する材料も含まれており、薬種研究だけでなく画材研究の観点からも貴重な資料といえる。今後、目録作成後にはデジタルアーカイブ化の対象資料を選定し、専門業者による撮影を進める予定である。また、大黒屋の一部資料は岡崎市美術博物館に寄託されており、これら寄託資料についても閲覧調査を実施する計画である。

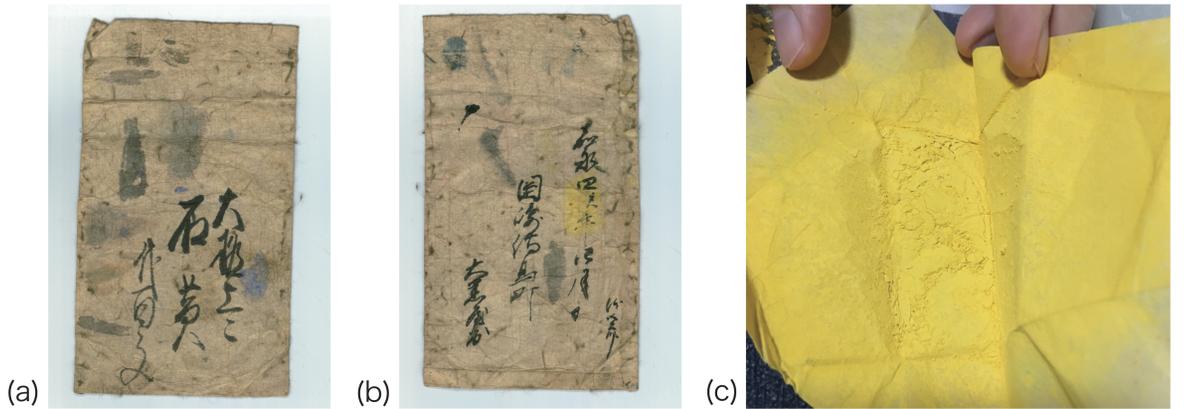


写真1 大黒屋で嘉永4年に販売された石黄のパッケージと顔料

- (a) パッケージ（表）「大極上々 石黄 代百文」
- (b) パッケージ（裏）「嘉永四亥年四月 竹口郎 岡崎伝馬町 大黒屋出」
- (c) 薬方紙に包まれた石黄顔料



写真2 資料に仮の整理番号を付した様子



写真3 目録リスト作成のための資料撮影

表1 目録リスト（部分）

仮資料番号	資料名	縦(cm)	横(cm)	高さ(cm)	年代	特記事項	コメント
01-001	校正増補／唐宋詩語玉屑				明治12		刊。4冊。8巻。文政13序。
01-002	東方帖						刊。1帖。※一部天地逆
01-003	東照宮御遺訓						写。1冊。上中下。
01-004	草地巻				明治13		刊。6冊。※書名は打付書。
01-005	標記増補／十八史略				明治10		刊。7冊。天明元初印（「天明改元夏五平安藤原正臣謹志」）
01-006	松三番叟ほか						写。1冊。末尾に「小野篤富」と署名あり。間に2紙一対の口上様の摺物が挟んである。
01-007	詩語碎錦				寛政6		刊。1冊。「明和戊子原刻安己再刻」とあり。
01-008	琴曲洋紙／撫箏雅譜集						刊。2冊。上中のみあり（下欠）。
01-009	詩話階梯				天保15		刊。1冊。須原屋茂兵衛ほか板。
01-010	絶句類選評本				文久2		刊。2冊。上下。21巻。風月庄左衛門ほか板。
01-011	（無題）						写。折本。1冊。画帖。※習作アルバムか。
01-012	豊橋四時雜詞						刊。1冊。※漢文。
01-013	三家妙絶				文化4		刊。1冊。※漢文。
01-014	歴代詩学精選				嘉永6		刊。2冊。
01-015	山陽文橋				明治11		刊。2冊。上下。
01-016	龜頭増補字林玉備				明治4		刊。1冊。
01-017	写書千字文				明治15		刊。1冊。一部活字本。あ
01-018	佩文齋詠物詩選				文政13		刊。2冊。
01-019	福澤文集二編				明治12		刊。2冊。巻1・2
01-020	經典餘節						刊。4冊（二・三・四・五。「論語一〜四」）。
01-021	星巖集						刊。9冊。※題簽には通し番号なし。柱刻・内題等によれば「星巖集」のほか「紅蘭小集」「玉池吟社詩」を収録。
01-022	龜頭対照／法例改正民法				明治31		刊。1冊。洋紙。
01-023	龍山吐月集				明治21		刊。1冊。洋紙。
01-024	（無題）						写。1冊。野線入りの印刷箋を50枚以上袋綴じた帳面に、3丁付き。
02-001	植物標本						23セット/2.7cm（「カラスノエンドウ」より始まる）
02-002	植物標本						66セット/4.2cm（「ヤマゴボウ」より始まる）
02-003	植物標本						69セット/4.3cm（「ボウシグサ/アラバナ」より始まる）
02-004	植物標本						3.4cm（「アヲトネリ」より始まる）
02-005	植物標本						3.5cm（「ハジカミ/シヤウガ」より始まる）
02-006	植物標本						4.0cm（「鶏腸」より始まる）
02-007	植物標本						4.5cm（「桑」より始まる）
02-008	植物標本						5.6cm（「芍薬」より始まる）
02-009	植物標本						3.3cm8「ヒナウツツツツ紫花ノモノ」より始まる）
02-010	備忘録						写。2冊。「備忘録」と打付書。その左に「雲烟過眼」と打付書きした上に×印でミセケチ。初丁に「ヘーリー・ハルサン 9. 次度ホルム 5.」等薬品名が並ぶ。以降、漢詩の抜き書き、「外資移入ノ道ヲ開キ外人々内地・」 「抑モ我国八気候温和ニ地味豊肥ニシテ・」等の抜き書き（途中「農商工業」「化学的」等の単語が見える（「明治十九年第十月」と記入時期明記されたもの）。他に「明治廿五年六月十二日午後二時五拾分・東京行」と明記され、諸経費の金額と内訳をメモしたように見える情報もあり。（以上1冊目）2冊目も同様の印象。「英国」の何某、中国（仲国？）の何某（薬品を指すか）の「大粒/中粒/小粒」が云々等のリストあり。後半は漢籍様の文章の書写に見える。（以上2冊目）※2冊共に、間に墨付でないページが多く含まれる。業者撮影を発注するなら要考慮。
02-011	けいこぼん						写。1冊。「けいこぼん」と打付書。「老まつ」より始まる。
02-012	春涛詩鈔 甲籤				明治14		刊。2冊。乾坤。
02-013	鴻雁文鈔 初編				明治15		刊。3冊。上中下。
02-014	會心詩録				明治16		刊。3冊。天地人。